



虹ヶ丘

https://kawasaki-edu.jp/2/511_nizigaoka/

虹ヶ丘小学校
ホームページ ⇨



川崎をもっと好きになる そして、未来も川崎で

校長 井上 恵子

七夕の願い事を飾る竹を、6年生が早野に取りに行きました。早野聖地公園里山ボランティアの方々事前に、伐採にふさわしい竹を選んで印をつけておいてくださいました。学校ののこぎりでは生きていた竹は切れないということで、切れ味のよいのこぎりもお借りしました。「安全第一」、一斉に切って竹が倒れてけがをしないようにとご指導いただきながら、一グループずつ順番に切りました。今年の竹は孟宗竹です。里山の竹を切る体験は初めてです。ウシガエルが低い声で鳴いていました。

さて、8本の竹を学校まで運びます。去年は早野ボランティアの方々学校まで運ぶのを手伝っていただきましたが、今年は6年生23人で、「地面に笹を引きづらないように運ぶのですよ。」と忠告を受けて運ぶことができました。草の生い茂った、細い登り道ですが、6年生はなんなく担いで学校まで運びました。頼もしい6年生です。大きな竹です。しかも8本です。願い事がたくさん飾れます。子どもたちがどのような願い事をするのか楽しみです。早野では竹炭をつくっています。「1・2月の炭焼きまでの活動日には、竹をたくさん切るので、みなさんもぜひ参加してください。」とおっしゃっていました。先日、ボランティアの小泉さんが、トイレに置く早野産の炭を持ってきてくださいました。自然の消臭剤です。かわいい籠に入っています。その籠は、タウンニュースで紹介された高石在住の上戸すみ子が作ってくださったものです。全トイレに炭が置いてあります。ご来校の際にぜひご覧ください。



さて、7月1日は市制100周年記念日です。川崎市ではさまざまなイベントが計画されています。虹ヶ丘小学校では、計画委員会立案、代表委員会で決定した「100」のモザイクアートに取り組んでいます。「川崎のすきな〇〇」を一人一枚書いて張り合わせ、「100」をつくるというものです。

川崎マリエン、生田緑地、藤子・F・不二雄ミュージアムなど行ったことがある場所を書いている子、川崎市のマスコットキャラクター「かわるん」「ウオータン」やよみうりランドのグッド、フロンターレのふろん太、バスケットチームのロウル。そして、学校付近の虹ヶ丘公園、虹ヶ丘球場、琴平神社、

虹ヶ丘こども文化センター、早野聖地公園、チャレンジパーク、吉垣花園、東急バスの車庫など思い出の場所を選んだ子もいます。1・2年生は身近なところを選んで書いていました。

1年生は「みんなとおべんきょう」かんがえることがすきだからです。「たとる」まいにちみている ぼくのともだちだからです。「はやしらいす」はやしらいすがおいしいから。素直でかわいらしい作品です。

3年生は、「虹ヶ丘小学校の空」わたしは空が好きです。「きんかんの木」おいしそうだし、アゲハのような虫がときどきいるからです。「体育館のうら」自然がゆたかが好きです。「校庭にある花」やさしい色とかわいい形です。一人一人異なる好きがあることを感じます。

6年生になると、「川崎といえばのらぼう菜 おいしい！育てるのが楽！な野菜」「かわるんは、リサイクル・リユース・リデュースの3つを含め『3R』のキャラクターです。このキャラクターから、ゴミを資源に変えるという目標を感じました。」などが出てきました。1年生から6年生、そして先生が、一人一人異なる視点を持ち、「自分の好き」を表現しています。素敵な作品が出来上がりました。

この取り組みをきっかけとして、さらに、ふるさと「虹ヶ丘」や川崎への愛着が生まれるとよいと思います。